

2025年ねじめ正一氏選

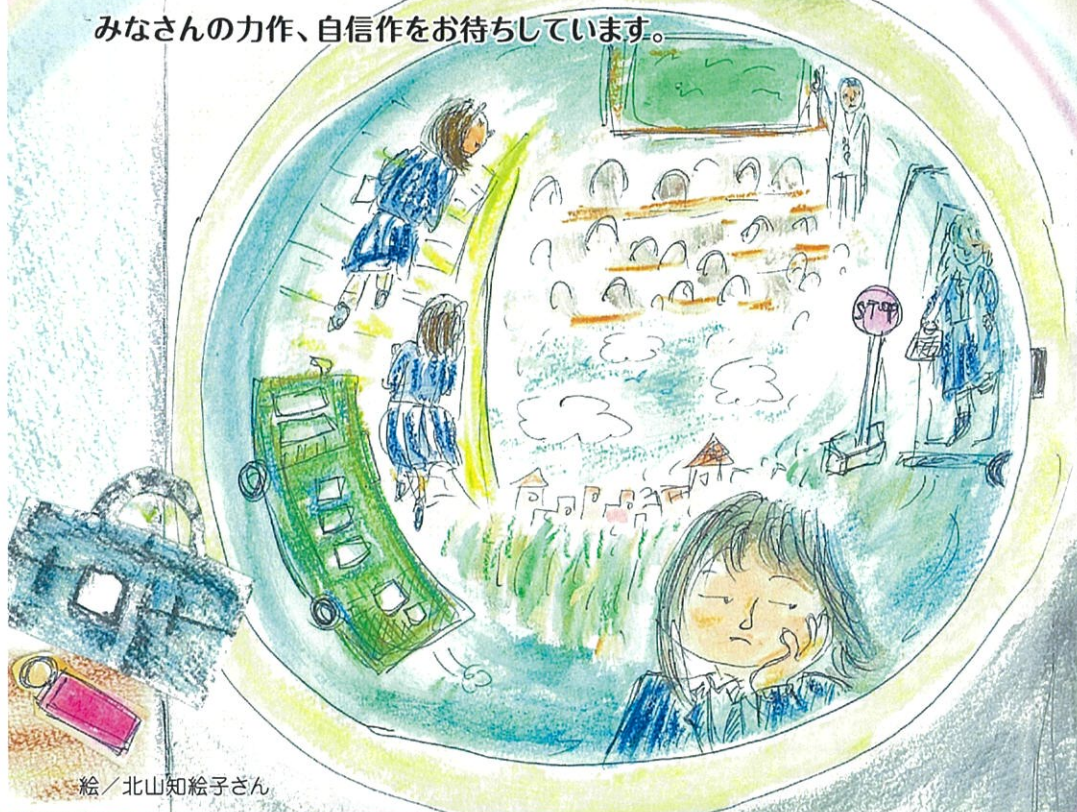
高岡山町筋土蔵造りフェスタ協賛

作品募集
全国公募

ポエム大賞

第22回 高岡・山町

「高岡・山町ポエム大賞」は、第22回を迎えました。
今年も山町ゆかりの詩人、ねじめ正一さんが選者を務めます。
みなさんの力作、自信作をお待ちしています。



絵／北山知絵子さん

応募規定

資格 全国の小・中・高校生（個人、団体どちらでも可。18歳以下）

募集作品 未発表の詩で1人2編まで。題材は自由。家族や日常生活、学校生活、恋や夢、高岡や山町について書いたものなど、自由なテーマでお書きください。

※本大会への応募作は他の公募型コンクールへ応募できません。
※応募作品の著作権は主催者に帰属します。

書き方 400字詰め原稿用紙3枚以内。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を明記する。

応募方法 郵送・FAX・HPで下記宛先にご応募ください。
〒933-0911 富山県高岡市あわら町13-50
北日本新聞社西部本社「ポエム大賞」係
TEL.0766-22-2226 FAX.0766-25-7775
HP kitanippon.info/takaoka/yamacho-poem/

締め切り 2025年9月11日(木) 必着

◆主催 「高岡・山町ポエム大賞」実行委員会
(富山銀行、土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会、まちづくり会社・末広開発、北日本新聞社)
◆後援 富山県教育委員会・高岡市教育委員会・高岡商工会議所

第21回ポエム大賞・北日本新聞社賞受賞作品

なんだか

芝浦工業大学柏高等学校1年
坂井十和子さん

最近
なんだか
上手くいかない

腐った果実が落ちこちた
避けたはずの肩に「なんだか」は乗っている
「なんだか」を
ドラム式の洗濯機に入れて
種類も分量も知らない
表示ラベルを読んでも分からない
そんな洗剤を注ぐ
水に濯がれる音を聞きながら
頬杖をつく
空腹を持て余しているドラム
なんだか不満げ

頬杖の続きの世界で
「なんだか」の正体を考える
毎朝走って家を出て
友人と静かにバスを過ごす
長い長い階段を登った先で
知らない間に始まった一日
あつという間に過ぎ去って
やりたくもない単語帳と共に帰る
一体どれが正体なんだかわからない

しばらくして軽快な音が鳴ったとしても
鎖で結んだ面倒な現実を見せびらかすだけ
なんだかうざったい

物干し竿に手を引かれ外に連れ出される
眩しすぎる外の世界
もう少し
いやずっと
あのままでいたかったのに
しょうがないから
目の前の家に干された服と同じように
「なんだか」を吊るしてみた

「なんだか」から滴る水
透明な水
余計に汚れが残った
ように見える
きっとそのせいで
乾ききったはずなのに
なんだかバツとしないのは

それでもなんだか嫌いになれない
なんだか居心地が良い気がするから
だから「なんだか」は「なんだか」のまま

「なんだか」は今までずっと隣で歩いていた
「なんだか」は未だ
ボタボタと水滴を垂らしながら
隣を歩いている

表彰式
入賞作品
講評会(予定)

日時
11月23日(日・祝) 午後1時(予定)
会場
富山銀行本店 BOTホール
富山県高岡市下関町3-1 Tel.0766-21-3535

講師 ねじめ 正一氏

1948年東京都生まれ。81年、処女詩集「心」で詩壇の芥川賞といわれるH氏賞受賞。89年、小説「高円寺純情商店街」で直木賞受賞。2004年、絵本「まいごのこり」でひろすけ童話賞受賞。08年、小説「荒地の恋」で中央論文芸賞受賞。著書に「認知の母にキッスされ」「むーさんの自転車」「みどりとなすな」など。

発表 大賞、富山銀行賞、最優秀賞、優秀賞の作品は
11月下旬、北日本新聞に掲載されます。

賞 大賞・北日本新聞社賞 1点(図書カード3万円分)
富山銀行賞 1点(図書カード1万円分)
小・中・高校で最優秀賞各 1点(図書カード1万円分)
優秀賞各2点(図書カード5千円分)
佳作各5点、奨励賞、学校賞

熱心に取り組んで
いただいた学校に
学校賞を贈ります。

詳しくは
HPをご覧ください
山町ポエム



■お問い合わせ
北日本新聞社西部本社
高岡事業部 Tel.0766-22-2226